

カレード通信 Vol.65

2023年 3月号

小澤館長のコラム Vol.21

「人気本でも基本は1冊」理由は「図書館は本屋ではないから」

よくあるご意見の回答をひとつ。「人気の本は何冊か買ってほしい」このようなご意見をよくいただきます。いつも貸出中で予約してもなかなか回ってこないから、というのが理由で、その気持ちはわからないでもありません。批判を覚悟の上で敢えて辛口なことを言いますが、図書館は貸本屋ではありません。本を平積みしている書店でもありません。さらに辛口なことを言うとベストセラー本は図書館としてすぐには買わないと思っています。理由は、図書館は資料を吟味して幅広く収集することが求められるので人気があるからという理由だけで本を購入することの優先度は低いと考えるからです。実際には予約がたくさん入る本は寄贈も含めて複数冊蔵書として受け入れることはよくあります。ただ内情を言うと人気本は熱が冷めると誰も借りないのですぐに書庫行きです。東〇圭〇さん、宮〇み〇きさんといった作家の同じ本が書庫にずらりと並ぶ光景。ちょっと本がかわいそうです。どうでしょう、少しは分かっていただけでしょうか。これ、あくまでも個人的な見解です。念のため。(つづく)

図書館展示情報

一般展示 ももはじめてさく さくらほじめてひらく
桃始笑、桜始開

季節を表すものとして、二十四節気をさらに分割した、七十二候があります。3月10日頃からは「桃始笑」といい、桃の花が咲き始めることを表します。3月25日頃からは「桜始開」といわれ、桜の花が咲き始める事を表します。様々な花が咲き始めるこの季節、関連する本を読んで春を感じてみませんか？

YA展示 名言を探しに行こう！

人生100年に向けて、心の支えとなる格言や名言はお持ちですか？既に出会っている人、これから出会う人などいるかと思われま。世界に目を向ければ、あなたにピッタリな「ことば」と結ばれるかもしれません。

児童展示 さよなら またね

3月は卒園や引越しの季節ですね。そこで「お別れ」をテーマにした本を集めました。お別れはさみしいものですが、前向きな気持ちになれる本がたくさんありますので、ぜひ読んでみてください。

このほか館内の様々な場所でも展示をしています。ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、色んな本と出会ってください♪

最新情報はコチラから！

↑Twitter ↑Facebook

〒921-8845
石川県野々市市太平寺4丁目156番地
TEL: 076-248-8099
FAX: 076-248-8175
HP | <https://www.kaleido-nono1.jp>

野々市市立図書館 野々市市民学習センター
学びの杜のいちカレード

【開館時間】 9:00~22:00
【休館日】 毎週水曜日
年末年始(12/29~1/3)
特別整理期間

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 陶芸教室
5 料理教室	6	7 あかちゃんおはなし会	8	9	10	11 陶芸教室
12 カレードシネマ	13	14	15	16	17	18 陶芸教室
19 こどもおはなし会	20	21	22	23	24	25 陶芸教室 市民歴史講座
26 かがく実験教室	27	28	29	30	31	

陶芸教室生徒作品展(3/26~4/1)

3月カレードイベント情報!

カレードシネマ「チャーリーズ・エンジェル」

日時/ 3月12日(日) 13:00開場
13:30~ブックトーク、その後上映会
会場/ 音楽スタジオ 定員/ 50名(当日先着順)

世界的に大ヒットした『チャーリーズ・エンジェル』シリーズのリポート版です。アリアナ・グランデさんたちが歌うカッコいい曲にのせて、3人のエンジェルたちが大活躍します。挑戦する勇気が湧いてくる、新生活シーズンにぴったりのスパイ・アクション映画を、ぜひご覧ください。
併せて南光庭前にて、スパイ、忍者、筋肉、アクションなどに関する本の展示を行っております♪ぜひ、スパイのような頭脳と俊敏さを身につけて上映会へお越しください!

陶芸教室生徒作品展

日時/ 3月26日(日)~4月1日(土)
10:00~18:00(4月1日(土)は16:00まで)
会場/ オープンギャラリー
カレードの陶芸教室に通う生徒のみなさんによる作品を展示。あたたかな陶芸の世界を、ぜひお楽しみください。

カレード来館者数200万人達成!

2月4日、カレードの来館者数が200万人に達しました! 200万人目のお客様には、カレードからのプレゼントと、小澤館長による絵本の読み聞かせが行われました。これからも、皆さまに愛される施設を目指していきます!



市民歴史講座 「加賀国・能登国(石川県)の源平合戦!? 旗源平もあるよ」

日時/ 3月25日(土) 講座/ 13:00~14:00
旗源平/ 14:10~15:10
会場/ 研修室・会議室 定員/ 20名
対象/ 小学生以上 講師/ 水毛生貴之(カレードスタッフ)
申込み/ カウンターまたはお電話で(事前申込み・先着順)
石川縣を舞台とした「源平の歴史」を探ってみましょう! 今回はなんと! カレード限定モデル「旗源平」をご用意しましたあ~! いつもとは一味ちがう体験ができること間違いなしです!

ののいち検定 in カレード

カレードで作成した「ののいち検定」をご紹介します! ()に入る番号は①~④のうちどれでしょう? ののコレコーナーにも設置してありますので、ぜひご覧ください!

- 問3. 野々市市における学校のはじまりは、明治6年の野々市村落小学校からであり、瀬尾庄平宅を借り上げ男子部校に、()宅を以て女子部校とした。
- ①水毛生 伊余門 ②枝 権兵衛
③藤村 理平 ④館 八平
- 問4. 1960(昭和35)年6月15日に制定された市章は平仮名で()を組み合わせ分銅を形成し、市の融和発展を表現したものです。
- ①へへ ②のの ③いい ④とと
- 解答はページの下部に記載してあります。

今月のおすすめ本 『孤独を抱きしめて 下重暁子の言葉』

著者: 下重 暁子 出版社: 宝島社 分類ラベル: 159/9

この本は、「孤と個」「自立」「男と女」「家族」「老い」「矜持」「散り際」の8つのテーマに、著者の新聞や雑誌でのインタビュー・過去のエッセイから選んだものを1冊の本として出版したもので、著者初のメッセージ本です。100のメッセージは読者の心に残るものばかりです。
巻頭のカラーグラビア、そして著者の85年の歩みを年表にしたものも掲載されていて下重暁子について詳しく知ることができます。まえがきに記されている16世紀のスペインの詩人サン・ファン・デ・ラ・クルスの『孤独な鳥の五つの条件』という詩に心を熱くさせられます。
「孤と個」というテーマでは、「淋しい」と「孤独」は違う。「淋しい」とは一時の感情であり、「孤独」はそれを突き抜けた一人で生きていく覚悟であると書かれています。人の目を気にせず、自分で考え自分で選んで人生を切り開く。世の中の常識や権威なんて「それがどうした、なんぼのものじゃ」と思うようにしていると、インタビューで語っています。「老い」というテーマでは、歳をとるということは個性的になること。だからこそ、最後には、いちばんその人らしくあってほしいし、自分もそうありたいと語っています。
読み終え本を閉じる。そして、大きく深呼吸をする。ひとは生れてくるときも死ぬときもひとり。ならば自分らしさを全開の人生を生きようと強く思うのです。

こちらの本は、カレードと女性センターに1冊ずつ所蔵しています。